

需要獲得

ものづくり

株式会社ズーム・ティーン

東京都港区

もの言えぬ赤ちゃんに、こだわりの本物商品を届けたい 健全な子育ての実現に寄与する

ベビー用品（哺乳びん、抱っこ紐、産着など）の製造販売、家庭用雑貨の販売。1995年に角度付の哺乳びんの考案者である米国の小児科医とライセンス契約を締結し、2002年より日本国内でデザインを考案し独自の製造方法を確立させた「ドクターベッタ哺乳びん」を製造・販売している。同社は、「もの言えぬ赤ちゃんに、こだわりの本物商品を届けたい」「健全な子育ての実現に寄与する」という基本的な考えの下、すべての製品の企画・製造販売を手掛けている。

所在地	東京都港区南青山5-6-10 5610番館501	設立	1987年
電話/FAX	03-3486-5300 / 03-3486-5152	資本金	1,000万円
URL	https://beta.jp/	従業員数	28人
代表者	代表取締役 河合 とも子		



世界の赤ちゃんに向けて役に立つ商品でありたいとの思い

同社では、日本はもとより、出生数の多い中国マーケットを中心に販売を強化していくことが需要拡大の最大の決め手と考えている。現に、天猫国際店、京東商城店といった直営店を展開している中国での販売実績は大きく、見逃せない市場である。今後もさらに中国を中心に東南アジアの需要獲得を目指す。これまでに国内業界シェア10%に迫った実績を礎に、今年度は、オンライン戦略に力を注いでおり、アリババ、T-mall、アマゾンUSAでの販売が好調である。



ベッタの海外アンテナショップのロゴ

災害避難所の備蓄用としての自治体への寄付や、インバウンド需要への対応

東京都内の市区町村に留まらず、全国の自治体に声がけをして災害備蓄用として哺乳びんの寄付を進めている。東日本大震災の被災地である岩手県釜石市大槌町へは、継続的に支援セット商品を贈っているほか、全国の市区町村へ寄付を行っている。直営店舗では、インバウンドの方が多数訪れる地域であることもあり、スムーズに対応できるように、販売ツールの多言語化、英語対応ができるスタッフの常駐、免税販売を行なっている。地域活性化の一助となれるように、ニーズへの対応を迅速に行うことを心がけている。



販売ツールの多言語化

安全な素材にこだわったものづくり

プラスチック哺乳びんで使用している素材は、高級プラスチック素材PPSU（ポリフェニルサルホン樹脂）である。PPSUは、高い耐熱性と耐衝撃性を持ち、そのレベルは透明プラスチックとしては最高レベルと言われており、ボトル本体の耐熱温度は、180℃を誇る。その高い耐久性ゆえ医療機器にも利用されるような信頼性のある素材を使用している。また、PPSUは燃やしてもダイオキシンが発生しないので、環境にも優しい。



PPSU製の哺乳びん

需要獲得

ものづくり